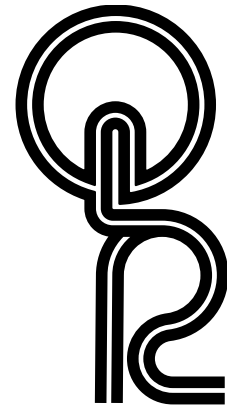


# QR Newsletter



## 第四紀通信

Vol. 14 No.4, 2007



現在発掘中のイタリア・ベスピオ火山北麓、ソマヴェスピアーナ遺跡。同遺跡は472年ボレナ噴火による土石流によって埋められた。  
(2007年5月25日、山口礼実撮影)

---

---

Vol. 14 No. 4

August 1, 2007

総会のお知らせ・・・・・・・・・・ 2	国際会議案内・・・・・・・・・・ 16
2007年大会の案内(第4報)・・・・ 3	研究委員会の公募・・・・・・・・ 16
50周年記念国際シンポジウムの案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13	学会からのお知らせ・・・・・・・・ 17
セミナーのお知らせ・・・・・・・・ 15	幹事会議事録・・・・・・・・・・ 18
	会員消息・・・・・・・・・・ 19

---

---

## 日本第四紀学会総会のお知らせとお願い

9月1日(土) 神戸大会会場にて2007年総会が開催されます。会員各位のご出席をお願い申し上げます。

やむを得ず欠席される場合は、委任状(とじ込みのはがきまたはファックス)を必ずご提出ください。(庶務幹事)

ファックス送付の場合は8月25日(土)必着でお願いします。

Fax. 03-5273-4435

早稲田大学教育学部

日本第四紀学会庶務幹事 久保純子あて

### 総 会 委 任 状

2007年 月 日

日本第四紀学会 2007年総会議長殿

私は議長(または )氏)を代理人と定め、2007年の日本第四紀学会総会におけるいっさいの議決権を委任します。

氏 名 ( ) (署名または捺印)

所 属 ( )

## 日本第四紀学会2007年大会のお知らせ(第4報)

日本第四紀学会2007年大会は以下の予定で開催されますので、皆さん多数のご参加をお願いいたします。

### 1. 日程概要・会場

会場：神戸大学百年記念館（兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1）

日程：

8月31日（金）一般研究発表・評議員会：神戸大学百年記念館 六甲ホール

9：30-10：30 一般研究発表（オーラルセッション O-1～O-4）

10：30-10：45 休憩

10：45-12：00 一般研究発表（ポスターセッションショートサマリー P-1～P-34）

12：00-13：00 昼食・休憩

13：00-14：00 ポスターセッション コアタイム

14：00-17：45 一般研究発表（オーラルセッション O-5～O-17）

18：00-20：00 評議員会：百年記念館3F 会議室A

ポスターセッション会場は百年記念館3階，展示時間9：30～17：45

9月1日（土）一般研究発表・総会：神戸大学百年記念館 六甲ホール

9：00-10：30 一般研究発表（オーラルセッション O-18～O-23）

10：35-12：00 総会

12：00-13：00 昼食・休憩

13：00-14：00 ポスターセッション コアタイム

14：00-17：30 一般研究発表（オーラルセッション O-24～O-35）

18：00-20：00 懇親会：瀧川記念学術交流会館1F

ポスターセッション会場は百年記念館3階，展示時間9：00～17：30（17：45までに撤収）

9月2日（日）シンポジウム「瀬戸内海の変遷 - 自然，環境，人」

：神戸大学百年記念館 六甲ホール

9：00-16：10 S-1～S-11

9月1日（土）公開講座「大地の変動と地震・津波」：神戸大学瀧川記念学術交流会館

13：00-17：00

9月3日（月）-4日（火）

巡検「淡路島と東播磨平野の大阪層群および高位段丘層と活断層地形」

申込締切は8月11日（土）

上記以外に開催される委員会

8月31日（金）12：00-13：00 幹事会：百年記念館2F 講師控室

9月1日（土）12：00-13：30 INQUA国内委員会（奥村・斉藤）：百年記念館2F 講師控室

### 2. 会場案内

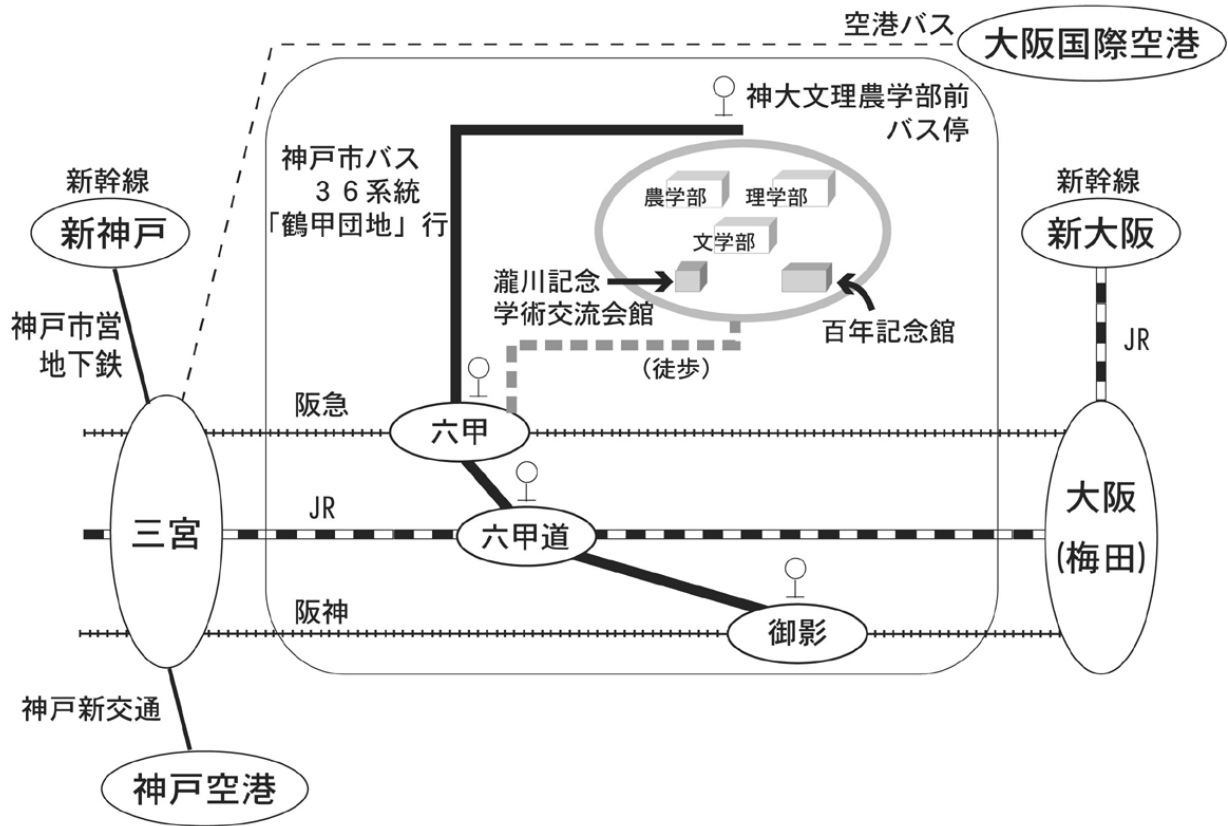
阪急神戸線「六甲駅」より徒歩約15分、バス7分。

JR神戸線「六甲道駅」よりバス約15分。

阪神電鉄「御影駅」よりバス約20分。

バス利用の場合、上記の駅から神戸市バス36系統「鶴甲団地」行きに乗車、「神大文・理・農学部前」バス停で下車。バス停より会場まで徒歩約2分。

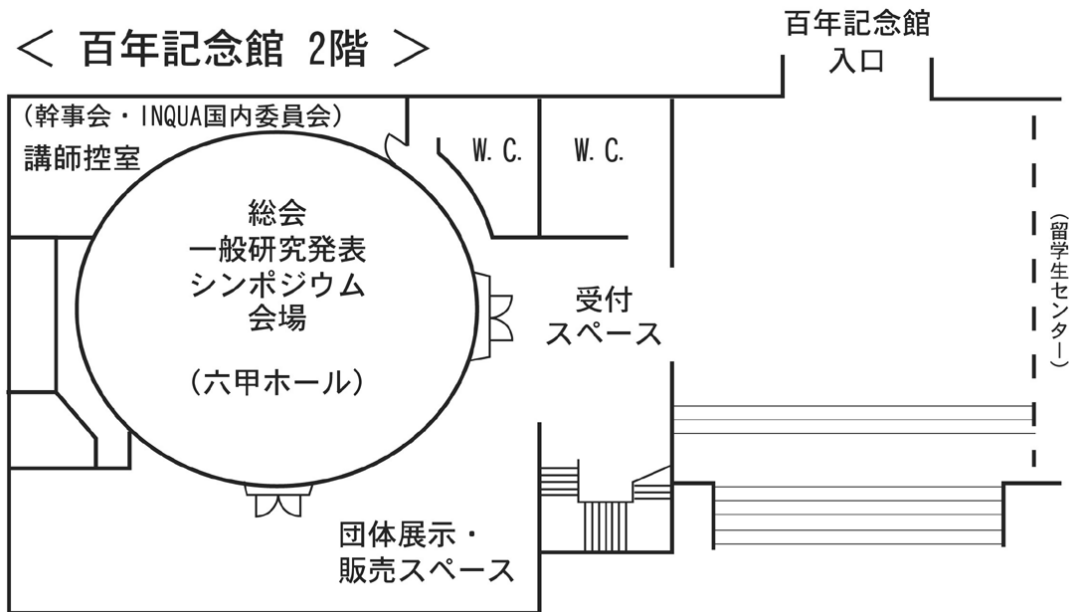
### 神戸大学へのアクセスマップ



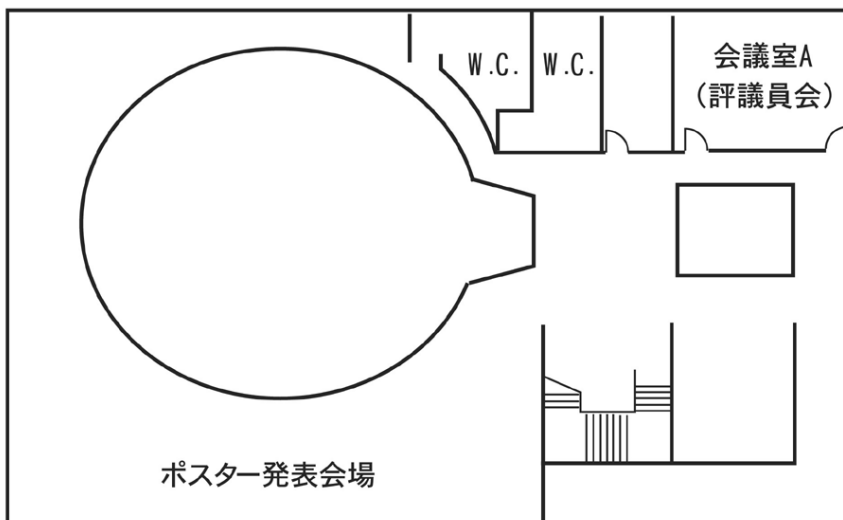
### 百年記念館周辺案内図



## &lt; 百年記念館 2階 &gt;



## &lt; 百年記念館 3階 &gt;



## 3. 巡検

巡検「淡路島と東播磨平野の大阪層群および高位段丘層と活断層地形」については、残り定員10名まで申込を受け付けています。締切は8月11日(土)で、満席になり次第受付を終了しますので、お早目にお申し込みください。

日程：2007年9月3日(月)・4日(火) 1泊2日

案内者：加藤茂弘・兵頭政幸・佐藤裕司ほか

淡路島と東播磨平野に分布する大阪層群や高位段丘層とその火山灰層、これらの地層からなる丘陵や段丘地形、野島断層や琵琶甲断層の変位地形や断層露頭などを観察し、考古遺跡や野島断層保存館を訪れて第四紀の自然・文化遺産の保存と活用について考えます。

巡検の詳細については大会第3報をご覧ください。

申し込み先：

〒669-1546 兵庫県三田市弥生ヶ丘6丁目

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境評価研究部 加藤茂弘  
TEL&FAX 079-559-2017 E-mail:katochan@hitohaku.jp

#### 4. 一般研究発表(ポスターセッション)の発表要領

ポスターは大会期間中8月31日(金)9:00~9月1日(土)17:30まで掲示できます。  
会場は百年記念館3階。

ポスターセッションコアタイム:8月31日(金)および9月1日(土)の13:00から14:00までを説明時間帯に設定しています。

ポスターセッションのショートサマリー発表を8月31日(金)10:45~12:00に1件当たり2分間以内で行います。ここではOHPのみ使用することができます。

ポスターのボード面積は1題あたり、縦170cm、横90cmです。ただし、左右各3cm程度は金属の枠ですので、この部分は画鋸を使用できません。ポスターをとめる画鋸やテープなどは会場で用意します。

ポスターには、発表番号・発表題名・発表者名をポスターのタイトルとして明記してください。発表番号は、本通信のプログラムを参照してください。

ポスター会場でコンピューターなどの使用や、画鋸等で掲示できない重量物等の展示を希望される方は、電子メールにて大会実行委員会事務局(daiyonki@port.kobe-u.ac.jp)まで連絡してください。

#### 5. 口頭発表要領

Microsoft Power Point 2003(及びそれ以下のバージョン)、またはOHPを用いた発表が可能です。また会場にはWINDOWSパソコン1台に接続した液晶プロジェクターを用意します。この備え付けのパソコンを使用される場合には、データファイルをパソコンにコピーする必要があります。ファイルをUSBメモリーかCDに入れたものを、発表時間よりも前に会場の発表受付ブースまで持ってきてください。別のソフト、またはMacintoshパソコンを利用される場合には、ご自分のパソコンを持参してください。液晶プロジェクターとOHP1台は同時に使用することができます。

#### 6. 参加費・懇親会申し込み等

大会参加費として、会員・非会員を問わず2,000円を申し受けます。当日会場の受付にてお支払い下さい。ただし、70歳以上の会員と学部学生は無料です。

講演要旨集は会場で直接販売いたします(予定価格2,000円)。大会終了後通信販売もいたしますので、購入希望の方は下記へお申込ください。

〒162-0041 新宿区早稲田鶴巻町519番地 洛陽ビル3階 日本第四紀学会事務局  
E-mail:daiyonki@shunkosha.com

TEL:03-5291-6231, FAX:03-5291-2176

懇親会に参加される方は、人数把握のためあらかじめ予約の申し込みをお願いします。  
参加費:一般(予約の場合)5000円,(当日参加)6000円,学生(予約・当日とも)2500円。予約は8月20日(月)までに電子メールまたはFaxで大会実行委員会事務局(兵頭)までご連絡下さい(E-mail:daiyonki@port.kobe-u.ac.jp, FAX:078-803-5757)。

\* 宿泊 大会第2報にホテル一覧の案内を付しましたので、お早めにご予約ください。

#### 7. 大会実行委員会および連絡先

実行委員会委員長:石橋克彦

連絡先:実行委員会事務局長 兵頭政幸

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学 内海域環境教育研究センター

Email:mhyodo@kobe-u.ac.jp Tel:078-803-5734 Fax:078-803-5757

\* 大会期間中の受付の電話:078-803-5294

## 8. プログラム

## シンポジウム「瀬戸内海の変遷 - 自然, 環境, 人」

日時: 2007年9月2日(日)

会場: 神戸大学百年記念館 六甲ホール

- 9:00-9:05 趣旨説明
- S-1 9:05-9:35 瀬戸内海周辺の「第一瀬戸内累層群」の年代と古環境  
..... 松原尚志(兵庫県立人と自然博)
- S-2 9:35-10:05 瀬戸内海とその周辺の活断層: 大阪湾に焦点をあてて  
..... 加藤茂弘(兵庫県立人と自然博)・岡田篤正(立命館大)・寒川  
旭(産総研)
- S-3 10:05-10:35 大阪平野西大阪地域における沖積層の形成年代と堆積速度  
..... 三田村宗樹・塚田 豊・吉川周作(大阪市立大)・笹尾英嗣  
(日本原子力研究開発機構)
- 10:35-10:50 休憩
- S-4 10:50-11:20 西南日本に沈み込んだフィリピン海プレートの形状とテクトニックな意  
義 ..... 三好崇之・石橋克彦(神戸大)
- S-5 11:20-11:50 第四紀の瀬戸内海周辺の古植生とフロラ変遷  
..... 百原 新(千葉大)
- S-6 11:50-12:20 瀬戸内海東部の相対的海水準変動 - 完新世を中心に -  
..... 佐藤裕司(兵庫県立大)
- 12:20-13:30 昼食
- S-7 13:30-14:00 縄文海進と先史遺跡群の動向 - 中部瀬戸内を中心に -  
..... 田嶋正憲(岡山市教育委)
- S-8 14:00-14:30 瀬戸内海の家砂問題と環境地質学の役割  
..... 井内美郎(早稲田大)
- 14:30-14:40 休憩
- S-9 14:40-15:00 大阪湾海底堆積物の磁氣的性質 - 古環境解析の基礎として  
..... 三島稔明・寺井 誠・兵頭政幸(神戸大)
- S-10 15:00-15:20 有孔虫化石に基づく大阪湾の底生生態系人為改変史の解説  
..... 辻本 彰(大阪市立大)・安原盛明(USGS)・野村律夫(島根大)・  
山崎秀夫(近畿大)・廣瀬孝太郎・吉川周作(大阪市立大)
- S-11 15:20-15:40 大阪湾における過去約200年間の珪藻群集の時空変化: 都市化に伴う富  
栄養化と沿岸埋立の影響  
..... 廣瀬孝太郎(大阪市立大)・安原盛明(USGS)・山崎秀夫(近畿  
大)・辻本 彰・吉川周作(大阪市立大)
- 15:40-16:10 総合討論

オーラルセッション: 神戸大学百年記念館 六甲ホール

2007年8月31日(金)

- | No. | 講演時間      | 題名  | 氏名(所属) |
|-----|-----------|---|--------|
| O-1 | 9:30-9:45 | 千葉県銚子地域犬吠層群最下部のテフラ層序と年代 - 東海層群の指標テ<br>フラ層との対比 - |        |

- ..... 田村糸子・山崎晴雄(首都大)・水野清秀(産総研)
- 2 9:45-10:00 伊那盆地の山郷テフラと大山最下部テフラ層中のhpm1テフラとの対比  
..... 中里裕臣(農村工学研)・竹下欣宏(栃木県立博)・中澤 努(産総研)
- 3 10:00-10:15 日本テフラデータベース(J-Tephra)の構築  
..... 平中宏典(新潟大)・長橋良隆(福島大)・里口保文(琵琶湖博)・吉川周作(大阪市立大)・井内美郎(早稲田大)・柳沢幸夫(産総研)・黒川勝己(新潟大)・公文富士夫(信州大)
- 4 10:15-10:30 中米・エルサルバドル共和国、コアテペケカルデラ起源の後期更新世テフラの層序と分布  
..... 北村 繁(弘前学院大)・ウォルテル・エルナンデス・カルロス・プリンジャー(SNET)・オトニエル・マティアス(INSIVUMEH)
- 10:30-10:45 休憩  
10:45-12:00 ポスターセッション ショートサマリー  
12:00-13:00 昼食・休憩  
13:00-14:00 ポスターセッションコアタイム
- 5 14:00-14:15 SAR法を用いた高精度RTL年代測定 - テフラ試料への適用法の開発 -  
..... 宮入陽介・横山祐典(東京大)・塚本すみ子(ウェールズ大)
- 6 14:15-14:30 SAR法を用いたRTL年代測定の第四紀後期古環境研究への応用例  
..... 横山祐典・宮入陽介(東京大)・塚本すみ子(ウェールズ大)
- 7 14:30-14:45 富士山青木ヶ原溶岩流の精進湖流入プロセスの検討  
..... 千葉達朗(アジア航測)・南方俊平・小甲太郎・遠藤邦彦・高橋正樹・宮地直道(日本大)・渡邊康司(AGS)・坪井哲也(アジア航測)・鈴木 茂(パレオ・ラボ)
- 8 14:45-15:00 静岡県御前崎周辺の完新世段丘の離水時期  
..... 藤原 治(産総研)・平川一臣(北海道大)・入月俊明(島根大)・長谷川四郎・長谷義隆・内田淳一(熊本大)・阿部恒平(筑波大)
- 15:00-15:15 休憩
- 9 15:15-15:30 境峠 - 神谷断層帯中 - 南部の変位地形と南部地区の活動時期  
..... 岡田篤正(立命館大)・杉戸信彦(名古屋大)・西川泰平・石村大輔(京都大)・柳田 誠・佐藤 賢(阪神コンサルタンツ)
- 10 15:30-15:45 1995年兵庫県南部地震, 2004年新潟県中越地震, 2007年能登半島地震へのINQUA震度階の適用  
..... 太田陽子(横浜国立大)・吾妻 崇(産総研)
- 11 15:45-16:00 石巻平野に分布する過去約3000年間の津波堆積物  
..... 穴倉正展・澤井祐紀・岡村行信・小松原純子・Than Tin Aung・藤原 治・藤野滋弘(産総研)
- 12 16:00-16:15 水月湖湖底堆積物のBe-10変動記録を用いた古地磁気強度変動の復元  
..... 池田 悟(東京大)・横山祐典(東京大, IFREE/JAMSTEC)・浜野洋三(IFREE/JAMSTEC)・中川 毅(ニューカッスル大)
- 16:15-16:30 休憩
- 13 16:30-16:45 中国レスに記録されたマツヤマ初期・中期の地磁気エクスカージョン  
..... 楊 天水(中国科学院)・兵頭政幸(神戸大)・楊 振宇(南京大・神戸大)・丁 林(中国科学院)・傅 建利(中国地質科学院)・三島稔明(神戸大)



- 14 16:45-17:00 インドネシア・サンギランにおける Matuyama-Brunhes 地磁気逆転とその人類学的意義  
 ..... 兵頭政幸・上嶋優子(神戸大)・松浦秀治・近藤 恵(お茶の水女子大)・竹下欣宏(栃木県立博)・檀原 徹(京都フィッシュン・トラック)・F. Aziz・Sudijono(インドネシアGRDC)・熊井久雄(大阪市立大)
- 15 17:00-17:15 関東平野南西縁，鮮新～更新統中津層群の古地磁気層序  
 ..... 植木岳雪(産総研)
- 16 17:15-17:30 岩石磁気特性に基づく過去 80 万年間の南アジアモンスーン変動の復元  
 ..... 菅沼悠介(東京大)・山崎俊嗣(産総研)・金松敏也(JAMSTEC)
- 17 17:30-17:45 兵庫県考古科学談話会(SAS)の活動とその成果 - 考古地磁気年代決定と磁気を用いた遺構探査  
 ..... 森永速男(兵庫県立大)

18:00-20:00 評議員会 (百年記念館 3F 会議室 A)  
 ポスター展示時間 9:30-17:45 (9:00 から展示可能です)

2007年9月1日(土)

- 18 9:00-9:15 最終氷期の東南極氷床後退過程における底面温度状態の変化 - 東南極，宗谷海岸・スカーレン露岩域の氷床底侵食基盤地形と氷床底堆積物に基づく検討 -  
 ..... 岩崎正吾(広島大)・三浦英樹(国立極地研)
- 19 9:15-9:30 南極大陸の潮間帯付近にある池の底で発見された硫酸ナトリウム礫の形成過程  
 ..... 佐藤高晴・竹田一彦・大川真紀雄(広島大)・瀬戸浩二(島根大)
- 20 9:30-9:45 中 - 後期更新世の浅海域堆積シーケンスにみられる地域的特性  
 ..... 岡崎浩子(千葉県立中央博)・中里浩臣(農村工学研)
- 21 9:45-10:00 関東平野中央部菖蒲コア上部に認められるコナラ属アカガシ亜属花粉の多産層準  
 ..... 本郷美佐緒・山口正秋・納谷友規(産総研)・中里裕臣(農村工学研)・水野清秀(産総研)
- 22 10:00-10:15 大阪湾夢洲沖ボーリングコアの底生有孔虫群集解析に基づく過去約1万年間の環境変遷  
 ..... 北村真一・辻本 彰・吉川周作(大阪市立大)
- 23 10:15-10:30 フィリピン群島における中期 - 後期完新世の3高海面期  
 ..... 前田保夫(兵庫県立大)・横山祐典(東京大)・F. Siringan・G. Quina (Univ. Philippines)

10:35-12:00 総会  
 12:00-13:00 昼食・休憩  
 13:00-14:00 ポスターセッションコアタイム

- 24 14:00-14:15 北海道、白老平野における縄文海進期以降の沖積層の堆積過程  
 ..... 鈴木正章(道都大)・遠藤邦彦・佐藤明夫(日本大)・古川竜太(産総研)・鈴木 茂(パレオ・ラボ)・細野 衛(東京自然史機構)・中村賢太郎(パレオ・ラボ)
- 25 14:15-14:30 サロベツ湿原の植生形成史  
 ..... 紀藤典夫(北海道教育大)・和田芙美子・石塚瑛理
- 26 14:30-14:45 余呉湖堆積物中の珪藻群集組成変化と人間活動  
 ..... 吉田広人・廣瀬孝太郎(大阪市立大)・山崎秀夫(近畿大)・吉川周作(大阪市立大)
- 27 14:45-15:00 珪藻の分布および殻径と底質粒度組成の関係から見た千葉県小櫃川河口

域における珪藻遺骸群集の形成過程  
 ..... 千葉 崇・遠藤邦彦(日本大)

15:00-15:15 休憩

- 28 15:15-15:30 微粒炭分析による奈良県曾爾高原における山焼きの歴史の解明  
 ..... 井上 淳(大阪市立大)・西村 亮・高原 光(京都府大)
- 29 15:30-15:45 阿蘇カルデラ北西部の宮山遺跡で発見された白色粘質堆積物(予報)  
 ..... 宮縁育夫(森林総合研)・緒方 徹・宮本利邦(阿蘇市教育委)
- 30 15:45-16:00 土器付着炭化物のAMS-<sup>14</sup>C年代測定 - 低湿地遺跡で観測される付着炭化物の内面と外面の年代差についての検討 -  
 ..... 宮田佳樹・遠部 慎・坂本 稔・今村峯雄(国立歴史民俗博)
- 31 16:00-16:15 瀬戸内海縄文時代早期貝塚の炭素 14 年代測定 - 岡山県瀬戸内市黄島貝塚を中心に -  
 ..... 遠部 慎・宮田佳樹(国立歴史民俗博)・熊谷博史(奈良大)・植田弥生(パレオ・ラボ)・若松孝史(瀬戸内市教育委)・米田 穰(東京大)

16:15-16:30 休憩

- 32 16:30-16:45 弥生土器胎土中に混和された軽石質テフラ  
 ..... 藤根 久(パレオ・ラボ)・新藤智子・福岡孝昭(立正大)
- 33 16:45-17:00 霧ヶ峰地区における黒曜石産地の微量元素組成による識別  
 ..... 新藤智子・中井弥生・福岡孝昭(立正大)・佐野貴司(科博)・杉原重夫(明治大)
- 34 17:00-17:15 中国内モンゴル自治区西部, 黒河下流地域に分布する困郭遺跡と灌漑水路跡 - Corona 衛星写真判読による抽出とそこに残された環境変化 -  
 ..... 相馬秀廣(奈良女子大)・堀 和明(名城大)・遠藤邦彦(日本大)・穆 桂金(中国科学院)・斉 烏雲(中国社会科学院)
- 35 17:15-17:30 中国黒河下流域における漢代以降の湖沼変遷と人間活動  
 ..... 遠藤邦彦(日本大)・斉 烏雲(中国社会科学院)・穆 桂金(中国科学院)・鄭 祥民(華東師範大)・村田泰輔(東京大)・堀 和明(名城大)・相馬秀廣・高田将志(奈良女子大)

18:00-20:00 懇親会(瀧川記念学術交流会館 1F)  
 ポスター展示時間 9:30-17:30(17:45までに完全撤収)

ポスターセッション: 神戸大学百年記念館 3階

- | No. | 題名   | 氏名(所属)  |
|-----|--|---|
| P-1 | 青森県上北平野北部に分布する袋町3, 袋町6, および白ベタテフラのジルコン・フィッシュン・トラック年代測定 | 桑原拓一郎(産総研)  |
| P-2 | 浅間火山軽石流期テフラの分布・層序と噴火様式の再検討                             | 大石雅之(首都大)   |
| P-3 | 伊豆諸島に分布する神津島・新島・大室ダシ起源の流紋岩質火山灰                         | 齋藤公一滝(千葉大)・林 幸一郎(応用地質)・田村 泉・河野圭悟(千葉大)・新堀賢志(環境防災総合政策研究機構)・津久井雅志(千葉大) |
| P-4 | ホルンブレンドの化学組成を用いたテフラ対比方法の検証                             | 寺田香奈子(豊島岡女子学園)・鈴木毅彦(首都大)  |
| P-5 | 火山灰層序からみた琵琶湖形成についての考察                                  | 里口保文(琵琶湖博)  |
| P-6 | 韓国全谷里における比抵抗調査 - III -                                 | 井上直人(地域地盤環境研)・黄 昭姫・林田 明・松藤和人(同志社大)                                  |

- Kidong Bae (Hanyang Univ.)
- P-7 二周波 GPS を用いた海岸低地地盤高の計測 ..... 奥村晃史(広島大)
- P-8 簡易地形測量のための Handy Station の開発  
..... 中田 高(広島工業大)・杉戸信彦・石黒聡士・鈴木康弘(名古屋大)・隈元  
崇(岡山大)・渡辺満久(東洋大)・堤 浩之(京都大)・近藤久雄(産総研)
- P-9 2007年版 INQUA 震度階における地震関連諸現象の区分  
..... 吾妻 崇(産総研)・太田陽子(横浜国立大)
- P-10 境峠 - 神谷断層帯中部, 下川原トレンチで見出された最近 2 回の活動  
..... 杉戸信彦(名古屋大)・岡田篤正(立命館大)・西川泰平・石村大輔(京都  
大)・柳田 誠・佐藤 賢(阪神コンサルタンツ)
- P-11 熊川断層の活動履歴 - 若狭町仮屋地区トレンチ調査報告 -  
..... 蒲池孝夫・金谷賢生(関西電力)・石井順一・中平啓二・松井和夫・梅田孝  
行・魚住誠司(ダイヤコンサルタント)・岡田篤正(立命館大)
- P-12 群列ジオスライサー調査による伏在活断層の活動時期解明 - 琵琶湖西岸断層帯南部,  
堅田断層の最新活動と 1185 年元暦京都地震 -  
..... 金田平太郎(産総研)・木下博久(復建調査設計)・小松原 琢(産総研)
- P-13 山崎断層系, 暮坂峠断層のトレンチ発掘調査  
..... 加藤茂弘(兵庫県立人と自然博)・岡田篤正(立命館大)・山口 寛(神戸  
大)・井口博夫・先山 徹(兵庫県立大)
- P-14 鹿島断層 < 島根半島 > の最新活動時期の考古学的調査による解明  
..... 徳岡隆夫・吹田 歩(徳岡汽水環境研)・田中義昭(元島根大)・渡辺正巳(文化  
財調査コンサルタント)・中田 高(広島工業大)
- P-15 天山山脈南麓台蘭河沿いの段丘発達と断層変位地形.... 渡邊三津子(総合地球環境学研)
- P-16 大阪堆積盆地の堆積環境と堆積システム - 地盤情報と地質コアを用いた検討 -  
..... 北田奈緒子(地域地盤環境研)・竹村恵二(京都大)・三田村宗樹(大阪市立大)・  
伊藤浩子(地域地盤環境研)
- P-17 ボーリングデータベースを用いた神戸地域の堆積環境および地盤特性  
..... 竹村恵二(京都大)・北田奈緒子(地域地盤環境研)・三田村宗樹(大阪市立  
大)・伊藤浩子(地域地盤環境研)
- P-18 洪水時に河川から排出された土砂の海域での堆積過程と海底環境への影響: 2003年北  
海道日高洪水の例  
..... 池原 研・片山 肇・辻野 匠・井上卓彦・野田 篤(産総研)・嵯峨山  
積・菅 和哉(道立地質研)・入野智久(北海道大)・大村亜希子(東京大)
- P-19 白老 - 勇払海岸平野を形成する日高起源の沿岸漂砂礫  
..... 佐藤明夫(日本大)・鈴木正章(道都大)
- P-20 濃尾平野北部の河成堆積物の特徴 ..... 堀 和明(名城大)
- P-21 チモール海から得られた堆積物の古地磁気・岩石磁気  
..... 小田啓邦(産総研)・横山祐典・堀池智之(東京大)
- P-22 東シベリアにおけるサーモカルスト湖堆積物の炭化片記録  
..... 片村文崇(京都大)・福田正己(北海道大), Nikolai Bosikov, Roman  
Desyatkin(ロシア科学アカデミー)
- P-23 サンタバーバラ海盆における過去 3 万年間の溶存酸素極小層の変遷 - 底生有孔虫群集  
の解析 -  
..... 大串健一(神戸大)・James P. Kennett・Tessa Hill (Univ. California)
- P-24 関東平野西縁、狭山丘陵の鮮新 - 下部更新統の化石の産出層準  
..... 福嶋 徹(むさしの化石塾)
- P-25 平尾台の植生と地形・地質条件  
..... 黒田圭介(西南学院大)・黒木貴一(福岡教育大)・村橋正剛(菊川中)・浦田健作  
(大阪経済法科大)
- P-26 タイ東北部サケラートの落葉フタバガキ林下より産出した植物珪酸体化石群  
..... 江口誠一(千葉中央博)・岡田直紀(京都大)・Somkid Siripatanadilok・  
Teera Veenin(カセサート大)

- P-27 大阪湾堆積物コアの珪藻分析による海洋酸素同位体ステージ 11 の古環境復元  
 .....狩谷千恵・兵頭政幸(神戸大)・佐藤裕司(兵庫県立大)
- P-28 長野市信更町高野層ボーリングコアの花粉分析  
 .....叶内敦子(明治大)・河合小百合・公文富士夫(信州大)
- P-29 大阪城内堀堆積物の花粉分析に基づく過去 150 年間の花粉堆積量変化  
 .....北川陽一郎・瀬越君代・吉川周作(大阪市立大)・高原 光(京都府大)・此松  
 昌彦(和歌山大)・山崎秀夫(近畿大)
- P-30 多摩丘陵の若齢クヌギ林分におけるクヌギ花粉粒生産量 ..... 清永丈太(東京都)
- P-31 D.M.D. ver2シリーズの開発.....渡辺正巳・後藤啓光(文化財調査コンサルタント)
- P-32 関東平野における完新世の環境史と縄文土器型式の年代.....工藤雄一郎(名古屋大)
- P-33 愛知県矢作川河床遺跡埋没林の AMS  $^{14}\text{C}$  法による年代  
 .....中村俊夫(名古屋大)・森 勇一(津島高)・辻誠一郎・安ソヒョン・國木田  
 大(東京大)
- P-34 礼文島浜中2遺跡出土土器のステロール分析と年代学的研究 - 土器に残された海獣の  
 痕跡と C/N 比を用いた続成作用の評価 -  
 .....堀内晶子(国際基督教大)・宮田佳樹(国立歴史民俗博)・パレオ・ラボAMS年  
 代測定グループ(パレオ・ラボ)・西本豊弘(国立歴史民俗博)

## 9. 公開講座

日時：2007年9月1日(土) 13:00 ~ 17:00

会場：神戸大学瀧川記念学术交流会館

世話人：兵頭政幸(神戸大学・内海域環境教育研究センター)

13:00 - 13:30 受付

13:30 - 13:40 開会挨拶

13:40 - 14:40 岡田篤正(立命館大学教授)

「西日本の活断層」

14:40 - 15:40 石橋克彦(神戸大学教授)

「南海巨大地震と私たちの暮らし」

休憩(10分)

15:50 - 16:50 藤原 治(産業技術総合研究所・活断層研究センター研究員)

「津波堆積物が示す地震の規模と周期」

16:50 - 17:00 閉会挨拶 日本第四紀学会会長

**日本第四紀学会 50周年記念事業 国際シンポジウム**  
**「アジア・西太平洋の第四紀－環境変化と人類－」**  
**International Symposium on Quaternary Environmental Changes and Humans in Asia and the Western Pacific**

日時：2007年11月19日(月)～22日(木)  
 場所：独立行政法人産業技術総合研究所共用講堂(茨城県つくば市)  
 主催：日本第四紀学会，独立行政法人産業技術総合研究所  
 後援：国際第四紀学連合(INQUA)沿岸海洋過程委員会  
       国際第四紀学連合(INQUA)層序年代委員会  
       日本学術会議(予定)  
 協賛：日本IYPE国内委員会

日本第四紀学会50周年記念事業として準備してきました国際シンポジウム「アジア・西太平洋の第四紀 - 環境変化と人類 - 」の参加登録，発表申し込みの受付が始まりました。シンポジウムは，今年11月19日～22日に茨城県つくば市の産業技術総合研究所つくばセンターで開催されます。発表の申し込み締め切りは9月15日です。下記に示しましたように，興味深い基調講演や招待講演が予定されています。皆様の申し込みをお待ちしております。

#### 1. 日程

2007年11月19日(月): 登録，アイスブレイカー  
 11月20日(火)～22日(木): シンポジウム  
 11月20日夕方：懇親会

#### 2. シンポジウムの構成：

	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)
午前のセッション 09:00-12:00		全体会合 基調講演	セッション2: セッション3:	セッション5: セッション6:
12:00-14:00		昼食とポスター	昼食とポスター	昼食とポスター
午後のセッション 14:00-17:00	登録	セッション1:	セッション4:	全体会合 基調講演
夕方	アイスブレイカー	懇親会		

##### 2.1 基調講演

Prof. Thijs van KOLFSCHOTEN, Leiden University, Netherlands

"Early Human history in Europe during the late Early and early Middle Pleistocene"

Prof. WANG Pinxian, Tongji University, China

"Feeling the Earth's pulse from global monsoon records"

Prof. David J. LOWE, University of Waikato, New Zealand

"Late Quaternary environmental change and archaeology in New Zealand: NZ-INTIMATE project and role of tephrochronology"

##### 2.2 各セッション名，コンピーナーと招待講演

セッション1 「西太平洋とその縁海の古海洋研究」コンピーナー：大場忠道(北海道大学), 池原 研(産総研)

Prof. Min-Te CHEN, National Taiwan Ocean University, Taiwan

"The last 100 kyr in tropical western Pacific: Insights from East and South China Sea marine cores"

Prof. Boo-Keum KHIM, Pusan National University, Korea

"Variation of geochemical properties in the northern East Sea (Sea of Japan) during the last 170 kyr"

セッション2 「ジャワ島における初期人類の編年と地質環境」コンピーナー：松浦秀治(お茶の水女子大学)

Dr. Fachroel AZIZ, Geological Survey Institute, Indonesia

"Faunal stratigraphy of the fossil hominid sites in Java"

セッション3 「アジア・太平洋地域の沿岸環境変化と人間活動」コンピーナー：斎藤文紀(産総研), 横山祐典(東京大学), Till J.J. Hanebuth(ブレーメン大学)

Prof. Tezer M. ESAT, The Australian National University, Australia

"Severe climate and sea-level fluctuations over the past 140 ky and opportunities for human migrations across the South East Asian and the Australian continental boundaries"

Dr. Niran CHAIMANEE, CCOP, Thailand

"The Erosion processes and Rehabilitation measures for the mangrove muddy coast of Chao Phraya Delta, Thailand"

セッション4 「酸素同位体ステージ3と2における東北アジアの環境変動と人類の居住」コンピーナー：小野 昭(首都大学東京)

Prof. Anatoly M. KUZNETSOV, Far Eastern State University, Vladivostok, Russia.

"Environmental changes during OIS3 and OIS2 and the origin of Microblade industries in North-East Asia"

Prof. LEE Heonjong, Mokpo University, Korea

"Recent Palaeolithic and Quaternary research of Youngsan river basin"

Prof. GAO Xing, Institute of Vertebrate Paleontology and Paleoanthropology, CAS, China

"A behavioral model for human evolution in Pleistocene, China."

セッション5 「アジアにおける第四紀地殻変動：地形発達と人間活動への影響」コンピーナー：吾妻 崇(産総研)

Prof. Yue-Gau CHEN, National Taiwan University, Taiwan

"Disaster of the 1999 Chi-Chi earthquake and current seismic hazard program in Taiwan."(仮題)

セッション6 「アジア・太平洋地域の中・下部更新統境界」コンピーナー：三田村宗樹(大阪市立大学), Nadya Alexeeva(シベリア地質研究所)

Dr. Nadya RAZJIGAEVA, Pacific Institute of Geography Far East Branch, RAS, Russia

"Lower-Middle Pleistocene boundary at the Kuril Islands"

Dr. Nadya ALEXEEVA, Geological Institute Siberian Branch, RAS, Russia

"Mammalian fauna change around the Lower-Middle Pleistocene boundary on the Eurasia"

3. 参加費：一般1万円，学生5000円（当日会場で受け付けます）

講演要旨集，アイスブレイカー，懇親会費用を含みます。

4. 発表の申し込み: 講演要旨と登録用紙を大会事務局 <jaqua50org@m.aist.go.jp> までメールで9月15日までに送ってください。要旨の記載方法はセカンドサーキュラーをご覧ください。

5. 出版物: 要旨集は当日参加者に配布します。一部のセッションでは国際集会后に国際学術誌 (Quaternary International, Journal of Quaternary Sciences) からの特集号を検討中です。詳しくはコンピーナーの方にお尋ね下さい。

6. 国際シンポジウム実行委員会と事務局

実行委員会委員長 佃 栄吉

事務局連絡先

産業技術総合研究所地質情報研究部門 斎藤文紀

茨城県つくば市東 1-1-1 中央第7

電話 029-861-3895, 3772, Fax 029-861-3747

E-mail: <jaqua50org@m.aist.go.jp>

または yoshiki.saito@aist.go.jp

7. 宿泊情報 (日本人の方は各自で手配して頂けますようお願い致します)

中心地区

「オークラフロンティアホテルつくば」(吾妻 1-1364-1) Tel 029-852-1112

「オークラフロンティアホテルつくばエポカル」(竹園 2-20-1) Tel 029-860-7700

会場から 2km 以内

「ホテルニューたかはし竹園店」(竹園 2-10-3) Tel 029-851-2255

「つくばデイリーイン」(千現 1-12-5) Tel 029-851-0003

「ペンション学園」(二の宮 2-12-5) Tel 029-852-8603

「旭屋ホテル」(二の宮 3-24-14) Tel 029-855-0311

「ホテルニュー鷹」(梅園 2-1-19) Tel 029-851-4788

関連情報

・つくばコンベンションビューロー (トップ>宿泊施設>つくば地区)

<http://www.intio.or.jp/tsukuba.cb/index.html>

・つくば Piazza つくばホテルMAP

<http://www.tsukuba.com/hotelmap/index.html>

・筑波学園都市 (つくば) へいらっしゃいませ!

<http://ohtsukuba.at.infoseek.co.jp/>

## “東海地震”防災セミナー2007[第24回]のお知らせ

昭和59年以来、毎年静岡市で開いてきましたが、本年も下記のとおり開催致します。関心をお持ちの方々のご参加を期待します。

日時: 平成19年11月8日(木)13:30 - 16:00

会場: 静岡商工会議所会館5階ホール (JR静岡駅北口西側)

テーマ: 東海地震に備える 座長: 静岡大学教授 里村幹夫

1. 東海地域の地下の蠢きを捉える

名古屋大学名誉教授・静岡大学客員教授 藤村直之

2. 一人の百人力より、百人の一人力=どう進めるか、減災の国民運動

時事通信社防災リスクマネジメントWeb編集長 中川和之

主催: 東海地震防災研究会

連絡先: 〒422-8035 静岡市駿河区宮竹1-9-24 土研究事務所 土 隆一

Tel:054-238-3240 Fax:054-238-3241

## 第4回国際デルタ会議（IGCP-475年会：バングラデシュ）のご案内

An International Conference on DELTAS (Bangladesh venue):

Deltaic Gateways: Linking Source to Sink

2008年1月6日～13日

IGCP-475「モンスーンアジア太平洋地域のデルタ」の第4回年会在、来年1月にバングラデシュで開催されます。今年1月に予定されていましたが、治安悪化により1年延期され、来年1月に開催されることになりました。登録及び発表申し込みのサーキュラーが発行されています。以下のURLからダウンロードが可能です。

<http://unit.aist.go.jp/igg/rg/cug-rg/ADP.html>

登録、発表、ホテルの申し込みの締め切りは10月15日です。皆さんの参加をお待ちしています。

IGCP-475の年会在は、第1回が2004年1月にタイのバンコクとアユタヤで、第2回が2005年1月にベトナムのホーチミン市で、第3回が2006年1月にブルネイで開催され、約20ヶ国からそれぞれ約100名の参加がありました。今回は第4回になります。第5回は2008年10月に中国の上海と青島で開催される予定です。

### 第4回年会的スケジュール 2008年

1月6日：登録

1月7日：ダッカのバングラデシュ地質調査所近くの会場で研究発表

1月8日：グラマプトラ川に1日巡検（自然堤防と砂州）

1月9-10日：川沿いのリゾートホテルで研究発表、

10日の午後にデルタ南西部のスダバンに移動。船泊

1月11-12日：スダバンで旧河口、マングローブなどの巡検

12日夜にダッカに移動。13日解散

### 登録料

6日から13日の朝までのホテル代、食事、巡検費用、会議参加費用などすべて込みで、600ドルです。

問い合わせ先：斎藤文紀（産業技術総合研究所）([yoshiki.saito@aist.go.jp](mailto:yoshiki.saito@aist.go.jp))

## 研究委員会の公募について（再掲）

日本第四紀学会では、国際第四紀学連合INQUAのCommissionに対応した日本国内の活動を支援するため研究委員会を設置しています。通例、6月に公募を行い8月の評議員会で審議され、承認された研究委員会は8月から活動が行われています。しかし今年は、7月末から8月上旬にオーストラリアのケアンズで第17回のINQUA大会が開催され、そこで今後4年間のCommission体制が確定されることから、INQUA大会後の10月に公募を行い、来年1-2月の評議員会で審議することになりました。今年8月からの半年間については学会からの援助ができませんが、ご理解のほどお願い致します。また10月の公募に向けて、各commissionに対応した国内での活動の準備をお願い致します。



## 住所不明者情報提供のお願い（幹事会）

以下の各会員は住所不明のため連絡が取れません。消息をご存知の方は、直接ご本人に伝えていただくか、あるいは事務局まで情報をお寄せください。皆様のご協力をお願い申し上げます。

### （北海道）

伊藤友彦、小林舞子、高倉裕一、中平啓二、古川英照、桃井雅樹

### （東北）

香内 修、生内眞澄、砂川奈都召、飛田健二、日比野紘一郎

### （関東）

青木顕太郎、新井雅之、池田 誠、石川孝織、伊勢明広、井上 誠、井上素子、上田圭一、海野 敬、大平原 寛、加登住 誠、鴨志田 毅、川崎 敏、川原あかね、河村和夫、国枝孝之、酒野今日子、坂本雄一、杉山和弘、田口 茂、武居裕之、柘植 孝、遠田晋次、内記昭彦、中野守久、奈良間千之、野口一郎、野田洋一、平林美幸、平柳幸彦、星埜由尚、宮下数史、宮野義則、村田泰輔、山崎 伸、由井将雄、千 鐘華

### （甲信越）

寺内万里子、内藤信明、細川 学、山崎雅恵、山田一雄、吉田裕香里

### （中部）

印牧もとこ、福岡正春、方 晶

### （関西）

井上靖志、熊谷里美、熊田 彰、小山栄造、沢野秋雄、田中好國、中井将嗣、野上丈助、宮地淳子、宮原伐折羅、村上敏幸、森先一貴、毛 礼米

### （中国）

谷田孝之、中野 浩、馬路晃祥

### （四国）

吉川尚伸

### （九州）

木原武士、下野悦郎、中島秀敏、永濱功治、中村拓道、中原一成

### （海外）

堀江正治、廉 鐘権

連絡が行きちがいになりました場合はお許しください。

## 会員の皆様へ - 電子ジャーナルの発行

平成19年8月より科学技術振興事業団(JST)の科学技術情報発信・流通総合システムJ-STAGE (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)による電子ジャーナル発行をおこないます。第四紀研究の45巻1号からの巻号一覧、抄録、全文PDFなどが御覧いただけます。ただし、発行1年以内の号についての全文PDF閲覧は認証が必要となっています。認証は会員共通で下記となります。

ID:

パスワード:

会員名簿にも掲載をしておりますので、御確認下さい。

なお、8月からは45巻1,2,3,4号は認証なしで、45巻5,6号は上記の認証でログインして下さい。今後、随時46巻をアップロードしてまいります。

どうぞ御活用下さい。

## 50周年記念事業募金者名簿に関するおわびと訂正

日本第四紀学会50周年記念事業実行委員会

「第四紀通信」14巻3号(2007年6月号)12ページに掲載の「50周年記念事業募金者名簿」に、以下のような誤りと不適切な記載がございました。関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしましたことをおわび申しあげ、訂正させていただきます。

1)募金者名簿の4行目、後ろからお二人目の「永井節雄」様は誤記であり、正しくは「永井節治」様です。訂正の上おわび申し上げます。

2)最終行に記載の榎尾重信様、坂本隆彦様、勝又麻須子様、宮内崇裕様、高濱信行様、早船元峰様は、50周年記念Tシャツ購入者とは無関係です。誤解を受ける表記でありましたことを訂正の上おわび申し上げます。

以上

## 2006年度第9回幹事会議事録

日時:2007年6月30日(土)13:00~16:40

会場:早稲田大学教育学部社会科資料室

出席者:町田 洋(会長)、真野勝友(副会長)、齋藤文紀、鈴木毅彦、池原 研、岡崎浩子、奥村晃史、遠藤邦彦、兵頭政幸、水野清秀、中川庸幸(春恒社)、小谷原一雄(春恒社)、久保純子

(議事)

他の会議等と重複のため、会計(鈴木幹事)・編集(池原幹事)を先に審議した。

1. 会計

・会計監査の実施予定。

2. 編集

(報告)

- ・編集状況の報告。
- ・編集委員会の体制について、現在の人数では不足。
- ・特集号(3号)完成の報告。
- ・次回委員会は7月14日の予定。

(審議)

- ・4号(8月1日発行)の発送が遅れる見通しのため、「通信」を先に発送し、4号に会員名簿を同封する。
- ・J-STAGE公開にあたりIDおよびパスワードを決めた。
- ・特集号(3号)のCDカバーデザインとINQUAケアンズ大会への持参について。

3. 庶務

(報告)

- ・選挙管理委員会より役員選挙結果の速報。
- ・各委員会報告の依頼と締切について。

・次期研究委員会の公募については「第四紀通信」掲載済。

・大学評価・学位授与機構の機関別認証評価専門委員候補者は採用されなかった。国立大学教育研究評価委員推薦の件は今回間に合わなかった。

・東大出版会より日本第四紀学会の出版物として『地球史が語る近未来の環境』が刊行され、会員割引がある。

・日本経済新聞から町田会長への取材があった。

・IUGSによる「第四紀」定義に関する近況。

(審議)

・転載承認：『岐阜県博物館総合案内』へ、原山ほか(2003)第四紀研究 42 巻 3 号の 11 図の転載承認。

・文科省科学技術賞および若手科学者賞候補者の推薦依頼の件。

・今回の会員名簿には、従来の会則や投稿規程のほかに、倫理憲章、諸規定・内規、論文賞歴代受賞者、大会開催地、シンポジウム題目一覧、学会略年表、関係博物館、文化財センター一覧等を掲載することとした。

・会費長期滞納者については、8月の請求とともに評議員会で氏名を公表し、次回評議員会までに払い込みのないものについて除名を提案することとした。

#### 4. 渉外

(報告)

・日本惑星科学連合大会開催報告、第5回評議会報告、男女共同参画委員会報告、プログラム委員会報告。

・自然史学会連合運営委員会報告。

・日本学術会議地球惑星科学委員会関連分科会について、INQUA 分科会開催予定の件。

#### 5. 行事

(報告)

・神戸大会の日程・プログラム案。

・普及講演は「公開講座」として開催する。

・会場でのブース使用希望者を募集する。

・2008 年度大会開催地の準備状況。

(審議)

・発表要旨集は 300 部印刷する。

・参加費は 2000 円とし、学部生と 70 歳以上は無料とする。

#### 6. 広報

(報告)

・特集号の印刷が遅れ、大会案内があるため「第四紀通信」を先に発送した。

・次号「通信」原稿締切は 7 月 7 日。

(審議)

・広報幹事交代にともない、広報編集書記、ホームページ作成委託、会員メーリングリスト契約について審議し、メーリングリストについては継続することとした。

#### 7. 企画

(報告)

・2月のシンポジウムの「地質ニュース」特集号編

集状況。

#### 8. その他

1)50 周年記念事業実行委員会

・国際会議のセカンドサーキュラーができた。

・募金者名簿の訂正。

・CD 出版物の進捗。

2)今後の予定

・新旧合同幹事会を 7 月 21 日(土)に早稲田大学で開催する。

・評議員会、総会資料の準備を行う。

第四紀通信に情報をお寄せ下さい

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。  
広報幹事：兵頭政幸(mhyodo@kobe-u.ac.jp)宛にメールでお送り下さい。  
第四紀通信は奇数月上旬原稿締め切り，偶数月1日刊行予定としていますが，情報の速報性ということから，版下が完成した段階でホームページに掲載するよう努力しています。奇数月15日頃にはホームページにアップするようになっていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 神戸大学内海域環境教育研究センター 兵頭政幸  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 電話 078-803-5734 Fax 078-803-5757  
広報委員：松下まり子・後藤秀昭 編集書記：岩本容子

第四紀学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/qr>から第四紀通信バックナンバーのPDFファイルを閲覧できます。